

福島経済マンスリー

11月の県内経済は、持ち直しの動きが緩やかとなり、先行きについては楽観できる状況にはない。

1. 2022年11月の県内経済

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、消費動向の一部や設備投資などに持ち直しの動きがみられる一方、公共投資や住宅投資が前年を下回っている。先行きについては、円安や物価上昇による影響などから引き続き楽観できる状況にはない。		
消費動向	大型小売店およびドラッグストア、コンビニエンスストアの販売額はいずれも前年比で増加した。一方、乗用車販売台数は、新車販売が3カ月ぶりに再び前年を下回るなど、依然として先行きは不透明である。消費者物価指数は「食料」などを中心に総合指数が上昇しており、物価上昇が引き続き消費動向に対する懸念材料となっている。		
公共投資	公共投資は、前年発注した福島県の仮設住宅撤去などの工事やいわき市の下水道工事、双葉町の新庁舎建設工事による反動などから、請負金額が前年比△33.6%、保証金額が同△15.7%、件数が同△16.3%といずれも前年を下回った。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、前年比で棟数が△19.2%、床面積が△7.2%といずれも減少したものの、工事費予定額は+72.1%と9カ月連続で前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は前年比△8.3%と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+14.3%と前年を上回ったものの、持家が同△17.4%、分譲が同△15.0%といずれも前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が93.8で前月比△2.0%、原指数が93.5で前年比+4.1%となった。業種別の季節調整済指数を前月比で見ると、「輸送機械工業」など9業種で上昇し、「印刷業」など9業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は季節調整値が1.42倍と前月値を0.05ポイント下回ったが、新規求人倍率は季節調整値が2.23倍と前月値を0.08ポイント上回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年比で△3.2%となった。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は10月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2022年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.5	1.4	△ 1.1	△ 1.4	r 1.0	0.1
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	1.9	3.1	4.2	0.6	4.8	3.6
	ドラッグストア販売額（全店舗）	0.8	4.3	4.7	4.3	5.5	7.4
	乗用車販売台数	△ 5.9	△ 7.5	△ 5.3	3.0	0.8	△ 2.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 12.4	△ 0.4	24.5	35.6	37.5	△ 33.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	39.1	239.6	16.6	48.9	222.1	72.1
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 18.0	7.9	△ 27.2	6.4	△ 15.2	△ 8.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.6	△ 0.4	3.8	5.6	4.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.11	0.09	0.19	0.17	0.16	0.12
	雇用保険受給者実人員	△ 5.2	△ 4.1	0.5	△ 1.8	△ 3.8	△ 3.2

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2022年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 4.0	5.6	0.1	△ 8.7	5.8	△ 2.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 0.7	8.8	△ 1.0	△ 6.8	2.2	△ 4.0
	ドラッグストア販売額（全店舗）	3.4	3.8	5.2	△ 6.9	△ 3.0	1.6
	乗用車販売台数	11.1	△ 2.4	△ 10.1	19.2	△ 4.6	1.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	29.1	△ 9.6	1.9	27.4	△ 18.4	△ 63.9
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	76.4	2.2	△ 37.4	43.3	131.4	△ 65.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	28.0	18.6	△ 23.1	15.2	△ 5.5	△ 7.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	4.0	1.3	3.1	2.9	△ 2.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	0.01	0.09	0.01	△ 0.03	△ 0.05
	雇用保険受給者実人員	14.0	0.2	7.9	△ 8.0	△ 7.4	△ 5.0

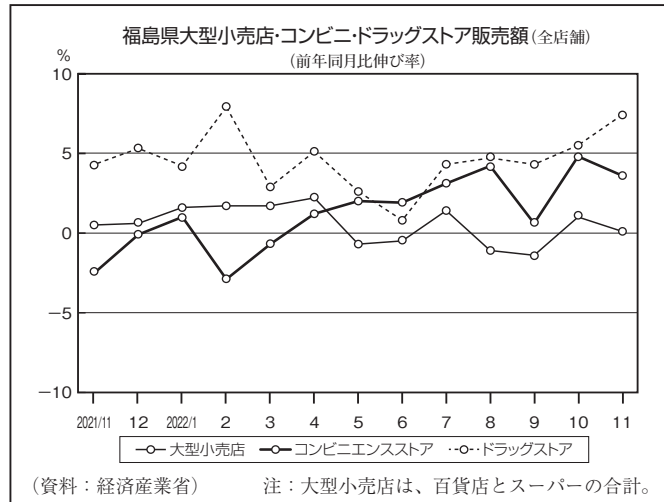
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

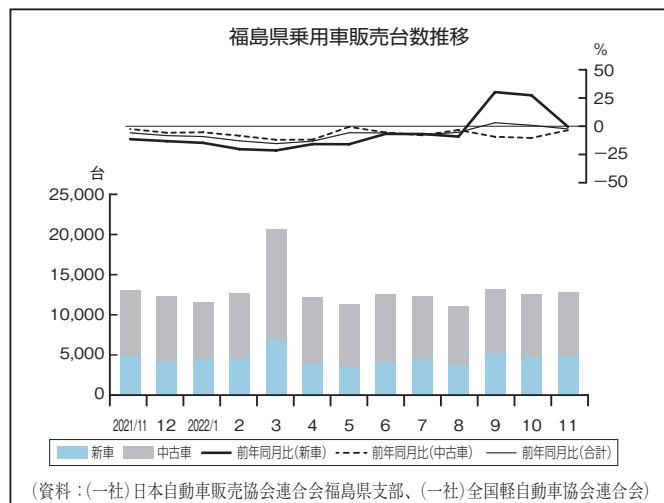
大型小売店およびドラッグストア、コンビニが前年比増

11月の県内大型小売店の販売額は223億22百万円（前年同月比+0.1%）と2カ月連続で前年を上回った。また、ドラッグストア販売額は96億77百万円（同+7.4%）と19カ月連続、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は168億75百万円（同+3.6%）と8カ月連続でそれぞれ前年を上回った。なお、大型小売店、ドラッグストア、コンビニの販売額合計は488億74百万円（同+2.7%）と前年を上回った。



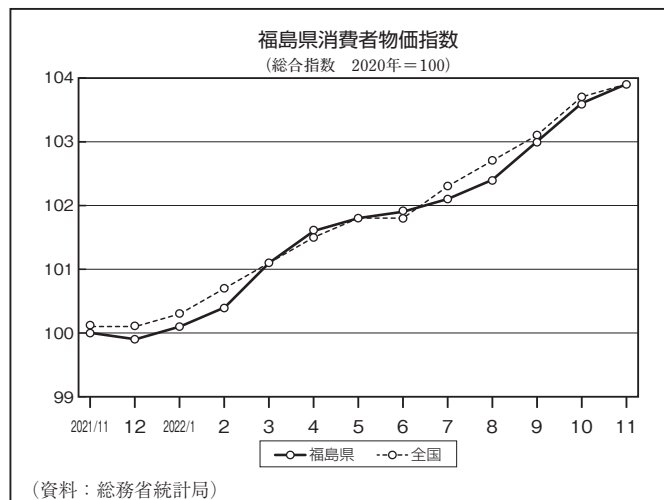
乗用車販売：3カ月ぶりに前年比減

11月の乗用車販売台数をみると、新車が4,771台（前年同月比△0.5%）、中古車が7,967台（同△3.5%）、合計が12,738台（同△2.4%）となった。新車は3カ月ぶりに再び前年を下回るなど、依然として楽観できない状況にある。



消費者物価指数：前月比、前年比とも上昇

11月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が103.9で前月比+0.2%、前年同月比+3.9%。費目別に前月比で見ると、「食料」の107.8（前月比+0.6%）など5費目で上昇、「被服及び履物」の105.0（同△1.1%）など2費目で下降した。

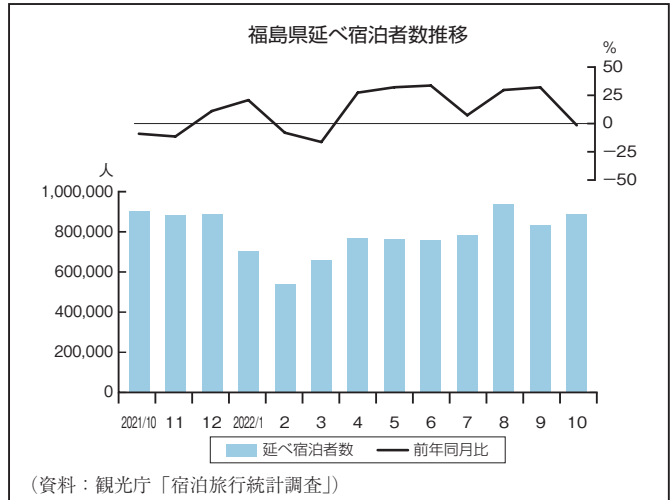


観 光

※延べ宿泊者数は10月データ

延べ宿泊者数：7カ月ぶりに前年比減

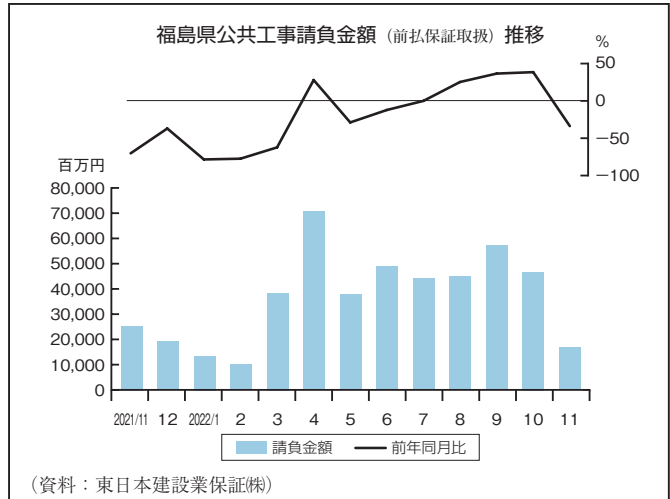
10月の延べ宿泊者数は、888,670人（前年同月比△1.5%）と7カ月ぶりに前年を下回った。前年をみると、9月末に「まん延防止等重点措置」が解除され、宿泊割引事業「福島県 県民割プラス」が始まった10月の延べ宿泊者数は90万人を突破するなど、前年実績が比較的高水準だったことから、前年割れしたものとみられる。



公共投資

公共工事：請負金額は4カ月ぶりに前年比減

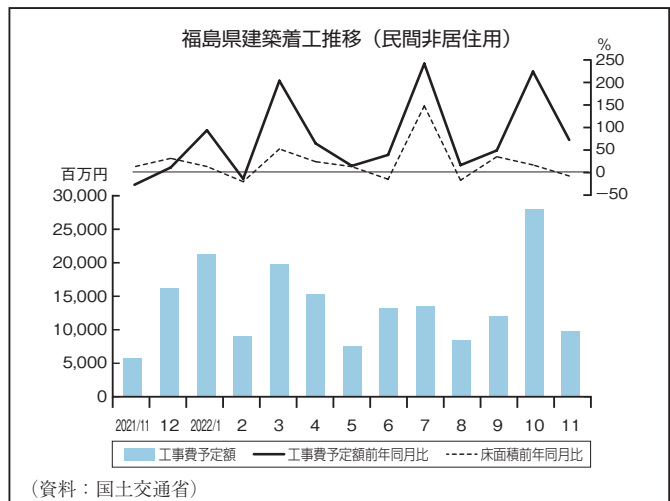
11月の公共工事前払保証取扱は、件数が477件（前年同月比△16.3%）、請負金額が169億88百万円（同△33.6%）、保証金額が95億98百万円（同△15.7%）といずれも前年を下回った。前年発注された福島県の仮設住宅撤去などの工事やいわき市の下水道工事、双葉町の新庁舎建設工事などによる反動もみられる。



設備投資

設備投資：工事費予定額が9カ月連続で前年比増

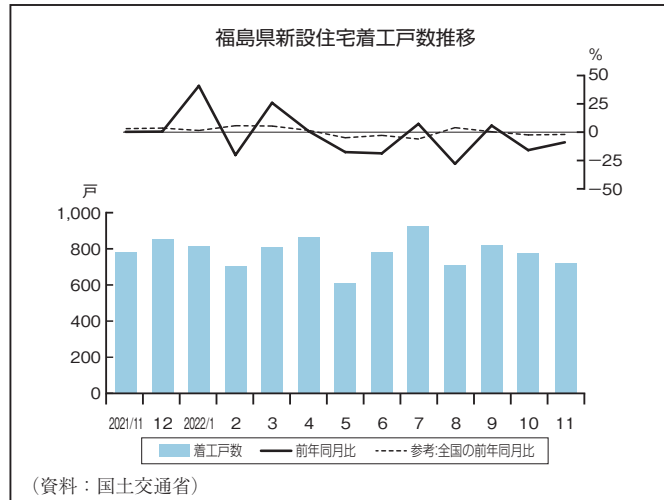
11月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が126棟（前年同月比△19.2%）、床面積が38,536㎡（同△7.2%）といずれも前年を下回ったが、工事費予定額は97億98百万円（同+72.1%）と9カ月連続で前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：2カ月連続で前年比減

11月の県内新設住宅着工戸数は719戸（前年同月比△8.3%）と2カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「貸家」が192戸（同+14.3%）と前年を上回ったものの、「持家」が376戸（同△17.4%）、「分譲」が136戸（同△15.0%）といずれも前年を下回った。

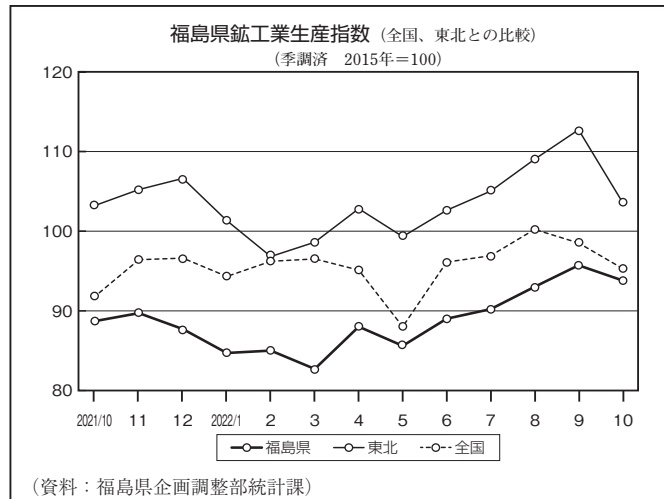


生産活動

※鉱工業生産指数は10月データ

鉱工業生産指数：前月比が下降、前年比が上昇

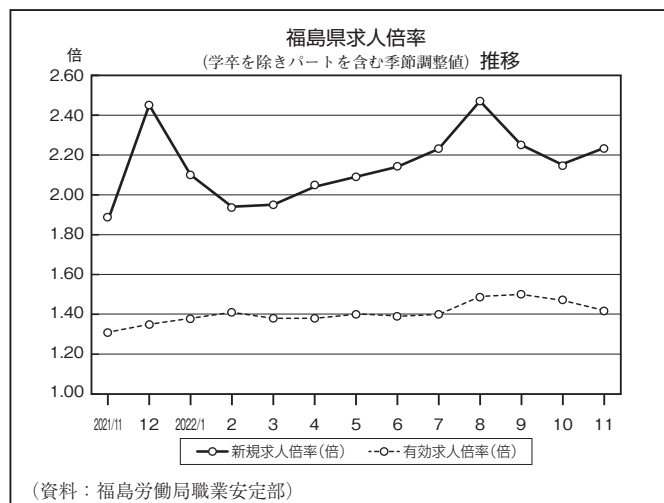
10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が93.8（前月比△2.0%）、原指数が93.5（前年同月比+4.1%）となった。業種別の季節調整済指数をみると、「輸送機械工業」（前月比+11.5%）など9業種で上昇し、「印刷業」（同△33.5%）など9業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比下降、前年比上昇

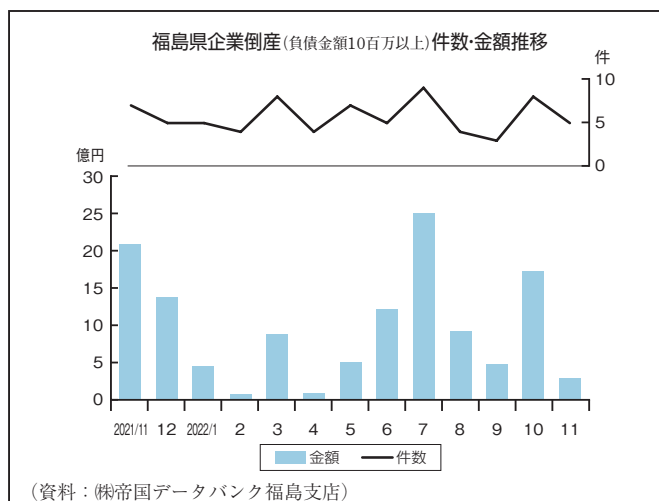
11月の新規求人倍率は、季節調整値が2.23倍（前月比+0.08ポイント）、原数値が2.35倍（前年同月比+0.29ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.42倍（前月比△0.05ポイント）、原数値が1.50倍（前年同月比+0.12ポイント）となった。また、11月の雇用保険受給者実人員は5,925人（前年同月比△3.2%）と前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債総額とも前年比減

11月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が5件（前年同月比△28.6%）、負債総額が2億83百万円（同△86.5%）。業種別で見ると、サービス業が2件、製造業、建設業、小売業が各1件となった。

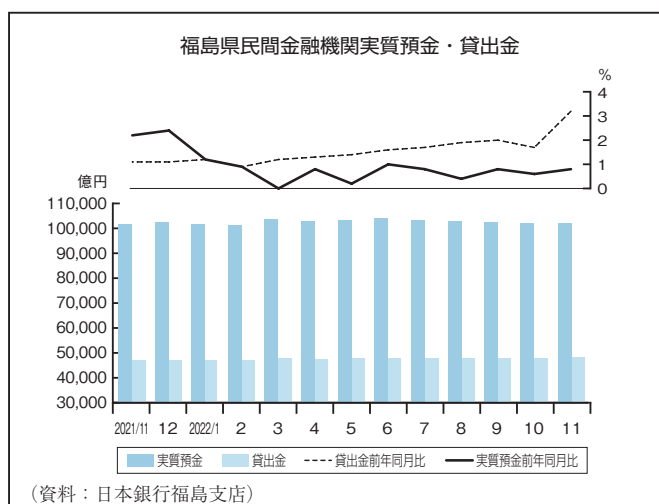


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の11月末の実質預金残高は、10兆2,447億円（前年同月比+0.8%）と3年6カ月連続で前年比増加。また、貸出金残高は、4兆8,368億円（同+3.2%）と9年6カ月連続で前年比増加。

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

11月の保証承諾は、件数が710件（前年同月比+26.3%）、保証金額が106億81百万円（同+39.0%）。11月末日現在の保証債務残高は、件数43,789件（同+3.2%）、金額5,624億8百万円（同△0.1%）。一方、11月中の代位弁済は、件数が27件（同+170.0%）、金額が1億72百万円（同+176.8%）。

